

別記第1号の2様式（介護職員初任者研修課程関係）

研修カリキュラム表（介護職員初任者研修課程 通学・**通信**）

事業者名： 株式会社木下福祉アカデミー

※実施方法については、「実施要綱」別紙3「各項目の到達目標、評価、内容」を網羅した内容とすること。

研修カリキュラム（実施要綱別紙1）		実施計画	
講義・演習（実習）		カリキュラム名・時間数	実施内容
1 職務の理解	6時間	1 職務の理解	6時間
(1) 多様なサービスの理解		(1) 同左	3
(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解		(2) 同左	3
2 介護における尊厳の保持・自立支援	9時間	2 介護における尊厳の保持・自立支援	9時間
(1) 人権と尊厳を支える介護		(1) 同左	6
(2) 自立に向けた介護		(2) 同左	3
3 介護の基本	6時間	3 介護の基本	6時間
(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携		(1) 同左	2
(2) 介護職の職業倫理		(2) 同左	1
(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント		(3) 同左	1.5
(4) 介護職の安全		(4) 同左	1.5

1 職務の理解

(1) 講義のみ
講義および演習：視聴覚教材の活用により、働く職場のイメージをつかみ、介護職とはどのような仕事なのかをグループ討議行う。

2 介護における尊厳の保持・自立支援

(1) 通信講習、講義および演習：講義を行った後、人権と尊厳を守り、支えていくことの重要性についてグループ討議を行う。
(2) 通信講習のみ

3 介護の基本

(1) 講義および演習：講義後に、介護職の役割と専門性、多職種の理解と連携の方法について事例に基づきグループ討議を行う。
(2) 講義および演習：講義後に、事例を基に介護従事者に求められる倫理観についてグループ討議を行う。
(3) 通信講習のみ
(4) 通信講習のみ

別記第1号の2様式（介護職員初任者研修課程関係）

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9時間		4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9時間		4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	
(1) 介護保険制度		(1) 同左	5	通信講習、講義および演習：講義後に、介護保険制 (1) 度における福祉サービス内容や利用の流れについて、グループにて調べ学習を行う。	
(2) 障害福祉制度及びその他制度		(2) 同左	1	(2) 通信講習のみ	
(3) 医療との連携とリハビリテーション		(3) 同左	3	(3) 通信講習のみ	
5 介護におけるコミュニケーション技術 6時間		5 介護におけるコミュニケーション技術 6時間		5 介護におけるコミュニケーション技術	
(1) 介護におけるコミュニケーション		(1) 同左	3	通信講習及び講義・演習：講義後に、コミュニケーションの (1) 意義、目的、役割などを踏まえた、コミュニケーションの基本技術をロールプレイを通して体験する。	
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション		(2) 同左	3	通信講習及び講義・演習：講義後に、グループにて事例 (2) 検討を行い、チームにおけるコミュニケーション方法やカンファレンスの重要性について学習する	
6 老化の理解 6時間		6 老化の理解 6時間		6 老化の理解	
(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常		(1) 同左	3	(1) 通信講習および講義	
(2) 高齢者と健康		(2) 同左	3	通信講習、講義および演習：講義後に、日常の健康管理 (2) について血圧、脈拍、体温等のバイタルを測る実技演習を行う。	
7 認知症の理解 6時間		7 認知症の理解 6時間		7 認知症の理解	
(1) 認知症を取り巻く状況		(1) 同左	1	(1) 通信講習のみ	
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理		(2) 同左	1	(2) 通信講習のみ	
(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活		(3) 同左	3.5	通信講習、講義および演習：認知症の症状の現れ方など (3) についての講義を行い、具体的な関わり方について複数の事例に基づき、ロールプレイ演習を行う。	
(4) 家族への支援		(4) 同左	0.5	(4) 通信講習のみ	

別記第1号の2様式（介護職員初任者研修課程関係）

8 障害の理解	3時間
(1) 障害の基礎的理解	
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	
9 心とからだのしくみと生活支援技術	75時間
ア 基本知識の学習	10～13時間
(1) 介護の基本的な考え方	
(2) 介護に関する心とからだのしくみの基礎的理解	
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	
イ 生活支援技術の講義・演習	50～55時間
(4) 生活と家事	
(5) 快適な居住環境整備と介護	
(6) 整容に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護	
(7) 移動・移乗に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護	
(8) 食事に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護	
(9) 入浴、清潔保持に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護	

8 障害の理解	3時間
(1) 同左	0.5
(2) 同左	2
(3) 同左	0.5
9 心とからだのしくみと生活支援技術	75時間
ア 基本知識の学習	10時間
(1) 同左	4
(2) 同左	3
(3) 同左	3
イ 生活支援技術の講義・演習	55時間
(4) 同左	5
(5) 同左	3
(6) 同左	7
(7) 同左	12
(8) 同左	7
(9) 同左	7

8 障害の理解	
(1) 講義のみ	
(2) 通信講習、講義および演習：講義後に、各障害や症状における支援の留意点をグループで調べ学習をする。	
(3) 通信講習のみ	
9 心とからだのしくみと生活支援技術	
ア 基本知識の学習	
(1) 通信講習および講義	
(2) 通信講習および講義	
(3) 通信講習、講義および演習：体のしくみの講義後に、人体の構造やボディメカニクス原理の実技演習を行う。	
イ 生活支援技術の講義・演習	
(4) 通信講習、講義および演習：生活支援としての家事サービスのあり方についての講義後に、寝具の整え方の実技演習をグループ別に行う。	
(5) 通信講習のみ	
(6) 講義および演習：整容の意義についての講義後に、着脱介助の実技演習をグループ別に行う。	
(7) 講義および演習：移動・移乗に関する基礎知識についての講義後に、移乗・移動介助の実技演習をグループ別に行う。	
(8) 講義および演習：食事の意味や環境整備についての講義後に、食事介助の実技演習をグループ別に行う。	
(9) 講義および演習：入浴や清潔の意義についての講義後に、施設の風呂を使用しての入浴介助や部分浴、清拭の実技演習をグループ別に行う。	

別記第1号の2様式（介護職員初任者研修課程関係）

(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	(10) 同左	7	(10) 講義および演習：排泄に関する基礎知識の講義後に、排泄介助の実技演習をグループ別に行う。
(11) 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	(11) 同左	3	講義および演習：睡眠や体位変換の意味および環境整備についての講義後に、体位交換の実技演習をグループ別に行う。
(12) 死にゆく人に関するところとからだのしくみと終末期介護	(12) 同左	4	(12) 通信講習及び講義
(実習) [※] (50～55時間中12時間以内)	(実習) [※] 時間		(実習) [※]
介護実習 ○時間			
ホームヘルプサービス同行訪問 ○時間			
在宅サービス提供現場見学 ○時間			
ウ 生活支援技術演習 10～12時間	ウ 生活支援技術演習 10時間		ウ 生活支援技術演習
(13) 介護過程の基礎的理解	(13) 同左	3	講義および演習：介護過程の目的や意義についての講義後に、介護過程の展開を理解するために、個別援助計画の作成演習を行う。
(14) 総合生活支援技術演習	(14) 同左	7	講義および演習：事例検討の意義や留意点についての講義後に、高齢者の認知症と片麻痺の2事例を基にグループ討議及び実技演習を行う
10 振り返り 4時間	10 振り返り 4時間		10 振り返り
(1) 振り返り	(1) 同左	3	講義および演習：講義にて研修全体で学んだことの再確認を行うと共に、介護の基本的態度の視点について考えるグループ討議を行う。
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	(2) 同左	1	(2) 講義のみ
追加カリキュラム			
計 (130時間)	計 (130時間)		

※「9ところとからだのしくみと生活支援技術」内で実習を行う場合、12時間以内とする。